

授業科目(ナンバリング)	ソーシャルワーク演習(社会)Ⅳ (DC302)			担当教員	野田 健・梅野 潤子・山下 彦		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	3年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本授業は、ディプロマポリシーに則りホスピタリティの精神を基盤に据え、人々の自己実現を支援する能力を修得するため、以下の2点をねらいとする。①実習を通じて体験した事例について、事例検討や事例研究を実際に行い、その意義や方法を具体的に理解する。②実践の質の向上を図るため、スーパービジョンについて体験的に理解する。							⑤⑥⑦
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	具体的なソーシャルワーク場面及び過程を想定した事例において、適切な価値、理念、理論、方法を見出すことができる。				グループディスカッション等 課題レポート	10%	10%
情報収集、分析力	ソーシャルワークの事例における具体的な課題について、情報を細部まで読み取り、総合的かつ包括的な援助の方針を考えることができる。				グループディスカッション等 課題レポート	10%	10%
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	高い意欲をもって、グループディスカッションや発表、実技において役割を見出し、貢献的に遂行することができる。				グループディスカッション等 課題レポート	30%	10%
多様性理解力	具体的な事例を通して、抑圧・差別等を批判的に捉え、多様性を重んじた行動・態度を示すことができる。				グループディスカッション等 課題レポート	10%	10%
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>授業への参加において、遅刻は厳禁である。</p> <p>「評価手段・方法」のグループディスカッション等(60%)とは、グループディスカッションや発表等の活動を指す。有意義な活動に貢献できたかを「ホスピタリティを構成する能力」の4項目の到達目標に沿って評価する。それぞれの活動の評価に関するフィードバックは授業内やポートフォリオにて随時行っていく。</p> <p>課題レポート(40%)では、福祉の課題と専門知識・技術に関する正しい理解に基づいて、理論的かつ明快に自分の考えを説明できたかを評価する。文字数不足及び誤字、脱字は減点の対象とする。また、課題レポートを未提出の場合は単位認定を行わない。この評価に関するフィードバックは授業内やポートフォリオにて随時行っていく。</p>							
授業の概要							
<p>この授業では、担当教員がそれぞれ少人数クラスを受け持ち、15回の授業を展開する。ソーシャルワーク実習の体験を一般化し、個人・グループ・クラスで事例研究、事例検討を通じて、ソーシャルワークに係る知識と技術について実践的かつ学術的な知識及び技術として修得していく。また、ピアスーパービジョンも織り交ぜることで、実践でも活用できる技能についても身に付けていく。なお、この授業は社会福祉士を目指し、「ソーシャルワーク実習指導(社会)Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「ソーシャルワーク演習(社会)Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「ソーシャルワーク実習(社会)Ⅰ・Ⅱ」を履修しない単位取得した者を対象としたものである。授業の案内や課題提示等はポートフォリオを活用する。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：一般社団法人日本SW教育学校連盟編(2021)『7 ソーシャルワーク演習[社会専門]』中央法規</p> <p>参考書：NPO法人日本SW研究会(2023)『医療福祉総合ガイドブック 2023年度版』医学書院</p> <p>指定図書：社団法人日本社会福祉士養成校協会監修(2015)『社会福祉士相談援助演習』中央法規</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>グループディスカッション等を行うので教科書の該当箇所及び事例を事前に読んでおくこと。</p> <p>グループのメンバーを尊重し合いながら、積極的に発言すること、調べること、書くこと。</p> <p>新聞やニュース、社会問題を取り上げた番組、映画等、広く社会の出来事に関心をもつことを期待する。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーションと実習経験の共有化	オリエンテーションとして、授業の進め方、評価等の確認を行う。また、実習経験をクラス内で共有化する。	予) シラバスの熟読。 復) 演習の意義と目的等を確認し、専門職になる意気込みをレポート提出。
2	<u>事例研究、事例検討、スーパービジョン</u> の説明	事例研究、事例検討、スーパービジョンについて、実習体験を踏まえながら説明を行う。	予) 配布プリントの熟読。 復) 授業の振り返りレポート提出。
3	<u>事例研究</u> (自己体験の整理)	実践を理論化していくため、実習での体験を文章化し、事例を作成する。	予) 実習記録の熟読。 復) 授業の振り返りレポート提出。
4	<u>事例研究</u> (実践経験の理論化)	前回の授業で作成した事例から、ソーシャルワークの価値、理念、理論、方法を分析・抽出し、整理する。	予) 作成した事例の点検。 復) 授業の振り返りレポート提出。
5	<u>事例研究</u> (グループ内での共有・ピアスーパービジョン)	前回の授業で整理したものをグループ内で発表し、その内容に関してグループディスカッションを行う。	予) 整理したソーシャルワークの価値、理念、方法を確認。 復) 授業の振り返りレポート提出。
6	<u>事例研究</u> (実践経験の理論化の再構築)	前回の授業で得た知見をグループ内で再整理し、事例を踏まえたソーシャルワークの価値、理念、理論、方法をまとめる。	予) グループディスカッションで得た知見を整理。 復) 授業の振り返りレポート提出。
7	<u>事例研究</u> の発表とピアスーパービジョン)	前回の授業でまとめたものをクラス内で発表・質疑応答を行い、知見の共有を行う。	予) 発表の準備。 復) 授業の振り返りレポート提出。
8	<u>事例検討</u> (体験の共有)	グループに分かれ、グループ内で印象に残っている事例を共有し、次回作成する事例のテーマを決める。	予) 実習記録の熟読。 復) 授業の振り返りレポート提出。
9	<u>事例検討</u> (自グループ事例の作成、アセスメント)	前回の授業に続き、事例のテーマに沿って、実習体験を活かしながら自グループの事例を作成し、アセスメントを行う。	予) テーマに沿った事例(案)の作成。 復) 授業の振り返りレポート提出。
10	<u>事例検討</u> (自グループ事例の模擬カンファレンス、プランニング)	前回の授業に続き、実習体験を活かしながら事例の模擬カンファレンス、プランニングを行う。	予) 自グループ作成事例のアセスメント結果の確認。 復) 授業の振り返りレポート提出。
11	<u>事例検討</u> (他グループ事例のアセスメント)	各グループで作成した事例を交換し、各グループでその事例について情報整理、分析を行う(アセスメント)。	予) 自グループの事例の事例・支援計画を確認。 復) 授業の振り返りレポート提出。
12	<u>事例検討</u> (他グループ事例の模擬カンファレンス、プランニング)	前回の授業に続き、各グループでその事例についての支援のあり方を検討する(模擬カンファレンス、プランニング)。	予) 他グループ作成事例のアセスメント結果の確認。 復) 授業の振り返りレポート提出。
13	<u>事例検討結果の発表とピアスーパービジョン</u> ①	各グループが事例検討、支援計画を発表し、その事例を作成したチームがピアスーパービジョンを行う。	予) 他グループ作成事例の支援計画の確認。発表の準備。 復) 授業の振り返りレポート提出。
14	<u>事例検討結果の発表とピアスーパービジョン</u> ②	各グループが事例検討、支援計画を発表し、その事例を作成したチームがピアスーパービジョンを行う。	予) 他グループ作成事例の支援計画の確認。発表の準備。 復) 授業の振り返りレポート提出。
15	<u>事例研究、事例検討</u> のまとめ	学生 1 人ひとりによる振り返りとまとめを行う。	予) 1 年間で学んだことについて整理。 復) 演習の全体を振り返り、学び得た成果を整理。